

台風15号

～ 我々が できること ～

9月23日夜から24日未明にかけて大荒れのまま通過した台風15号。その影響を受け、川の氾濫や土砂崩れの被害に遭った静岡県静岡市。10月29日(土)、我々NVNADスタッフは、以前から交流があるボランティア関係者と一緒に静岡市の葵区・清水区・駿河区を訪問しました。

災害発生からひと月が経過し、浸水して使用不可となっていたコンビニやガソリンスタンドが再開したり、飲食店が改装オープンして現地の方々が足を運ぶ姿も見られ、復興に向けて着実に進んでいるように見えました。ボランティアセンターのスタッフの方にお話を伺うと、家屋内の片づけのニーズは少し落ち着いてきたものの、自宅まわりの側溝にたまった泥出し等のニーズは現在もあり、県内の方を対象にしたボランティアセンターが運営されているとのことでした。山あいの集落からは、重機を使ったりフローリングをはがしたりといった専門的な技術が必要とされるニーズが多いようで、元の生活に戻るのはまだ先になるようです。



写真提供：
静岡大学藤井研究室 小川日南



氾濫した川の現在の様子
丸写真はガードレールの上に積もったままの泥

被災地でお役に立てる事を探すために訪問したのですが、県外からの訪問は未だ難しく、現在は「水没して汚れてしまった写真」の洗浄ニーズ等を調べています。地元の大学の写真洗浄チームや今まで交流のあった団体と連携しながら、被災された方の気持ちの拠り所になれるよう、今後も継続して活動していきたいと思っています。

この度の静岡行きの経費は、皆さまからの募金や寄付、またイベント売上の一部を活用させていただきました。いつもご支援くださりありがとうございます。この紙面をお借りして御礼申し上げます。

各地で災害が頻発する昨今「災害慣れ」という言葉が表すように、被災地の報道が減り、人々の関心が薄れつつあります。当団体は、今後も災害支援活動ならびに情報発信を続けて参る所存です。引き続きご支援くださいますようお願い申し上げます。

- c o n t e n t s -

- P 1 . . . 台風15号 ～我々ができること～
 - P 2 . . . Rijicho's column/ぼうさいこくたい2022/災害ボランティア養成講座
 - P 3 . . . 防災アニメ ももたろう
 - P 4 . . . Vision1.17/話し手さん募集
 - P 5 . . . おうちde防災キャンプ/親子ぼうさいイベント/MIRAIワークショップ
 - P 6 . . . 子ども防災クラブ/高木秋まつり/ココロープ
 - P 7 . . . 大阪マラソン2023/Nうごき・Nごよみ
 - P 8 . . . 会員・寄付者・募金者のみなさま/カレンダー市中止のお知らせ/継続寄付のお願い
- 編集後記

Rijicho's column

今年も残すところ1か月余りとなりました。新型コロナウイルス感染症の拡大により、私たちの生活や行動が大きく様変わりするようになって、もうすぐ3年になるうとしています。

この間も、豪雨災害をはじめとする自然災害は全国各地で頻発しましたが、コロナ禍の中にあって被災地に向くこともままならず、私たちの活動もずいぶん制約を受けてきました。皆さんに楽しみにしていただいております来春のカレンダー市も、コロナの影響により再び中止にせざるを得ず、大変心苦しく思っております。

ようやく少しずつ対面での活動が可能となる中で、新たな動きが出てまいりましたので、皆さんにぜひご紹介させていただきたいと思えます。11月5日・6日には、大阪の真ん中で、「防災パーク@そねちか」と銘打って、大阪大学や国土交通省などと一緒に「防災ウォークラリー」なども行いながら、みんなが助かるための社会づくり実証実験を行いました。

また、来年2月26日に行われる大阪マラソンのチャリティパートナーに初めて選んでいただき、これまでなかなか接点を持たせていただくことの少なかった皆さんにも、私たちの思いや活動を知っていただける機会を得ることができました。大阪マラソンの当日は、チャリティランナーの皆さんの応援や、私たちの団体のPRも含めてスタートとゴール地点となる大阪城公園にブースを設える予定です。ちょうど大阪城公園の梅林が見ごろの時季だと思います。大阪マラソンの応援や梅見がてらにお越しいただき、久しぶりに皆さんのお元気な顔を拝見できれば幸いです。

(NVNAD理事長 檜垣龍樹)

ぼうさいこくたい 2022

10月22日(土)と23日(日)、HAT神戸を中心とするエリアにて「ぼうさいこくたい2022」が開催され、多くの企業や団体と共に当団体も参加し、防災啓発を行いました。一般社団法人地域情報共創センターと共同で「未来共生災害救援マップ」と「たすかんねん」のブースを出展させていただき、当団体は「防災アニメ ももたろう」を紹介しました。大阪大学の稲場研究室をはじめ、NVNADのインターンの学生さんにもブースの案内を協力していただき、盛況のうちに終えることができました。今回の活動により、ひとりでも多くの方に防災について興味を持っていただけたら幸いです。ご協力くださった皆さまに感謝申し上げます。



災害ボランティア養成講座

@関西学院大学



9月13日(火)、関西学院大学(西宮市)にて災害ボランティア養成講座が開催され、参加してきました。まず参加者全員でアイスブレイキングのためのゲームを行ったあと、グループに分かれて非常時の持ち出し袋の中身を考えるワークショップや、熊本地震での学生さんたちのボランティア活動の事例紹介、また、ハザードマップの説明や『西宮市内でもし地震が発生したら、地域住民や大学生はどのようなことに困るか』についてグループで話し合うワークショップなどを実施しました。この度、関西学院大学ヒューマンサービス支援室、災害コミュニティつむぎ、西宮市社会福祉協議会と企画段階から実行委員会のメンバーとして参画させていただきました。この場をお借りして皆さまに御礼申し上げます。

防災アニメ ももたろう

NVNAD理事 米山清美



「米山さん、乳幼児向けの防災アニメを作りますか」と事務局から声をかけられたのは2021年の夏の初めでした。クラウドファンディングで資金を集め「集まったら」という条件でしたので、今思えばアニメ制作を甘く見ていたかもしれません。もちろん初体験でしたが、クラファン用コンセプトなどの文章を夜なべして考えるうちに「これって必要では」と思いました。実際インターネットで探してみると、乳幼児向けの防災アニメはありましたが訓話的なものが多く、もっと幼児たちが自然に見られるもの、そして親子で無理なく見られるアニメを作りたいと思いました。

まずはストーリー作成。昔話を使ってという事務局の依頼に、「桃太郎」の既存のストーリーに災害を入れ込んで作りました。すると事務局のスタッフに「クラファンでは、米山さんが乳幼児を中心にとっていたのに、ちょっと違うようだ」と言われました。そして作り直したのが、①乳児期、②イヤイヤ期の2歳児、③5歳児の桃太郎を主人公にした、全くオリジナルの3篇の防災アニメでした。

前述に「アニメ制作を甘く見ていた」といいましたが、完成までの期間は怒涛の日々でした。もちろん制作は関東にある動画制作会社で、毎週のオンライン会議は若い男性の製作者、事務局、米山で行いました。キャラクター設定やナレーションを作りながら、丁々発止の会議で私が譲れなかったのは「子どもの特徴と災害の実際」。第1話では乳児期の桃太郎の手足の長さや、泣き叫んでいてもおんぶされると泣き止むところ。第2話では2歳児の桃太郎の動きやイヤイヤ期の特徴。第3話では発達障害の友達への桃太郎の対応も描きました。アニメを見る人が違和感なく見られて、乳幼児期の子どもを災害から如何にして守るか知ってほしかったからです。オンラインだけでは分かりにくい「おんぶ」の仕方や2歳児の動きなど、地域の保護者の協力を得て何度も動画を送りました。そんな地域の保護者や製作者との間を取り持ってくれた事務局スタッフのおかげでやっと完成したアニメです。

また、このアニメには様々な被災地の保育所や子育て支援団体、乳幼児保護者からの聞き取りや交流から得た情報も盛り込んでいます。私自身は阪神・淡路大震災で被災し、今も同じ場所に居住していますが、中越地震のころから被災地に出向き、特に子どもの支援に携わってきました。元々幼稚園教諭で、現在も乳幼児保育や子育て支援に関わり、震災後地域住民たちで子どもの遊び場（プレーパーク）を作り運営しています。そんなことから子どもの防災には注力し防災講座などを続けてきましたが、どんな大人にも子どもを助けることを心がけてほしいと思っています。そして子どもには「自分で自分の身を守る」ことを知ってほしい。それには日ごろの心がけだと思っています。特に幼児期には体を動かして外遊びをすることで、しっかりした体幹やバランス能力を身に付けてほしい。遊びの中でコミュニケーション能力を高めてほしい。保護者にはそれらを理解してほしいと願っています。第3話の桃太郎にはその思いを込めたつもりです。

ボランティアで防災アニメ制作に関わり、現在はそれを使った防災講座に協力しています。それはYouTubeに流れている防災アニメは誰でも見られますが、その留意点などを知ったうえで利用してほしいからです。しかし講座参加者は沢山ではなく、乳幼児防災の関心度は低いようです。地道な活動をしていくしかないかと思いますが、この「響」の読者の皆様には、ぜひともその啓発にご協力いただきたいと思っています。そして今後はアニメの活用例を紹介する活動など、乳幼児防災の必要性をより広めていきたいと思っています。

ボランティアで防災アニメ制作に関わり、現在はそれを使った防災講座に協力しています。それはYouTubeに流れている防災アニメは誰でも見られますが、その留意点などを知ったうえで利用してほしいからです。しかし講座参加者は沢山ではなく、乳幼児防災の関心度は低いようです。地道な活動をしていくしかないかと思いますが、この「響」の読者の皆様には、ぜひともその啓発にご協力いただきたいと思っています。そして今後はアニメの活用例を紹介する活動など、乳幼児防災の必要性をより広めていきたいと思っています。



読売新聞に掲載されました

おやこ防災講座は今年度6回行う予定で、(公財)コープともしびボランティア振興財団より助成を頂いています。

Vision 1.17

いつもこのコラムを読んでいただきありがとうございます。本年4月から団体の代表を一步退いたことから、このコーナーも少し趣を変えてお届けしようと思ひ立ちました。

まず、タイトルが微妙に違うことにお気づきでしょうか？以前は、Vision 1.17でした。今回から、1.17という風に1と17の間に「.」が入りました。実は、大阪のある場所で117と書きましたら、娘さんのお誕生日ですかと訊かれ、どうも11月7日を思っておられるような雰囲気だったことがあります。「阪神・淡路大震災の日やん！」と強く言い返す場面でもなく、なんとも寂しい思いをしました。28年という時間が流れようとしているのですね。ピリオド1つの挿入ですけれど、少し拘って入れてみました。

次に、肝腎の内容ですが、少し研究にも触れてみたいと思っています。私が、災害ボランティアの研究を始めたのは、NVNADがまだ西宮ボランティアネットワークと呼ばれていた頃のことです。自分自身も西宮で災害ボランティア活動をしていました。実際に現場に関わりながら明らかになってくることを論文や本に書いてきました。ど

れ一つとってもNVNADを通じて学んだことがベースになっています。そこで、新しいVision 1.17では、NVNADの様々な活動やこれまでお世話になってきた被災地の皆様の顔を思い浮かべながら、いくつかの言葉を紹介していきたいと思ひます。

私の専門はグループ・ダイナミクスという（主に）人々の集まりの動きを研究する人間科学で、心理学や社会学といった文科系の学問分野です。災害現場に行っても建物や道路や堤防を建設するわけでもありませんし、復興に関する法律や制度を作る領域でもありません。研究の成果は言葉です。言葉？と首を傾げられる方々もいらっしゃると思ひますので、実際にいくつか採り上げながら進めてみます。どこかで実感していただければ幸いです。

予告をしますと、「防災といわない防災」、「被災地のリレー」、「誰もが<助かる>社会」、「ただ傍にいる」、「秩序化のドライブ」、「遊動化のドライブ」といったオリジナルの言葉もあれば、「ヴァルネラビリティ」、「レジリエンス」、「AFN」など、いかにも専門用語に見える単語も採り上げてみたいと思ひます。少しずつですが、わかりやすくお話してできるよう努めます。

次号からもVision 1.17をどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

(NVNAD副理事長 渥美公秀)



「話し手さん」 募集中!!

災害ボランティアとして活動したことがある方の「生の声」を話してくださる方を募集します。

- どのような動機で災害ボランティアに参加したか
- 実際に現地でどんな活動をしたか
- 気づいたことや伝えたいこと、などなど。

《上手く話せなくても構いません!!》

皆さまのように被災地で支援活動をしたい方、もしくは実際に災害が起きた時どのように行動すれば良いのかを知りたい方に、体験に基づいたお話をぜひともお聞かせください。

*会場までの交通費（実費）と薄謝を進呈させていただきます。

地震、台風、水害など、全国各地で災害が発生しています。

突然被災地となってしまった場所では、復興するために「災害ボランティア」の力が欠かせません。NVNADは今まで多くの被災地に駆けつけ、支援活動を続けてきました。

「被災地に行ったことはないけれど、うちの家ではこんな防災を実施しています」という対策などについてお話して下さる方も同時募集しています！

公民館などを使用し、地域住民に向けた「お話し会」をイメージしており、登録制にして、ご都合がつく方に話していただければと考えています。

少しでも興味を持たれた方、ぜひご協力ください。たくさんの方のご連絡を心よりお待ちしております。

TEL : 0798-34-9011

email : ni shi nomi ya@nvnad.or.jp

おうちde防災キャンプ



8月24日(水)、コープこうべ第2地区本部の主催で、今年も「おうちde防災キャンプ(オンライン)」が西宮今津高校で開催され、参加してきました。対象は西宮市内の親子で、今回は台風による災害を想定し、もし自宅で電気・水道・ガスなどライフラインがストップした場合、どのように過ごせばよいのかを「明かり」「食べ物」「トイレ」「熱中症」などをテーマに考えました。自宅の中にある「対応できそうなもの」を家庭ごとに画面の前に持ち寄っていただき、西宮今津高校ING部の生徒さんと一緒に確認をしていきました。そのあとING部の生徒さんたちによる事例紹介などもあり、とても有意義な防災イベントになったかと思います。今回の取り組みを通し、災害は決して他人ごとではなく、自分の身近なものとして日頃からできる準備を各家庭で進めていただけたらと思います。

親子ぼうさいイベント @こども本の森 中之島



9月23日(祝)、大阪中之島にある「こども本の森」という図書館にて、親子を対象にした防災イベントが開催され、大阪大学の学生さんと一緒に参加してきました。参加者は事前に申し込みをされた70名の親子で、前半は施設内でポイントラリーを実施し、後半は我々がぼうさいダックと防災クイズを担当しました。参加した子どもたちだけでなく、保護者の皆さんもとても積極的にプログラムに取り組んでくださいました。今回のイベントを通じて、防災への関心が深まることを願っています。

写真提供:「いとう写真」

大阪トヨタ & 大阪大学共催 「MIRAIワークショップ」

大阪大学人間科学部とOOS協定を締結された大阪トヨタ自動車株式会社が共同で、SGDsをテーマに地域課題を考えるワークショップが開催され、NVNADはファシリテーターとして関わらせていただきました。

4月に第1回目がスタートし、参加者が3グループに分かれ、大阪大学(吹田キャンパス)や大阪トヨタ本社ビルにて、合計6回のワークショップが実施されました。最終回ではグループごとにまとめた提案内容について、大阪トヨタ自動車株式会社の役員の前で、プレゼンを行いました。3グループともとても高評価をいただくことができ、学生さんたちの半年間の努力が報われた瞬間でした。このような素敵なワークショップに関わらせていただいたことに感謝すると共に、今回の学生さんたちの提案が、ひとつでも社会実装されることを願ってやみません。



子ども防災クラブ

10月15日(土)、高木小学校にて今年度初めての子ども防災クラブを行いました。7月末に予定していた第1回目がコロナで延期となり、待ちに待った新メンバーの顔合わせです。まずは昨年の活動をプロジェクターで見てもらい、振り返りながらNVNADの活動紹介を行いました。

今年入会した3年生と保護者さんも熱心にご覧になってくださり、その後、今回初めての試みとなる「自己紹介ビンゴ(学生リーダーさん考案)」をしました。

2択問題から自分の答えをビンゴカードに記入し、自己紹介の相手を探してじゃんけんをしながら○を増やしていくというもの。なるべくたくさんの人と自己紹介を繰り返し、ビンゴの多さを競いました。その後の防災クイズ大会では、子ども達の正解率の高さに感心しました。今年度もみんなで楽しく防災について学んでいきたいと思ひます。ご協力くださった学生リーダーの皆さん、どうもありがとうございました。



高木秋まつり



10月9日(日)、西宮市の高木公園にて高木秋まつりが開催され、NVNADも模擬店『魚つり』で参加させていただきました。コロナ禍で中止が続き、実に3年ぶりとなる開催で来場者数も全く読めない状況でしたが、まだ準備段階の時間から大勢の方が集まって来られ、大変な賑わいとなりました。

当日は朝からどんよりした下り坂の予想。いつ雨が降り出してもおかしくない天候でしたが、午前中何とか持ちこたえてくれ、昼から本格的な雨となり13時で繰り上げ撤収となりました。小さいお子さまから小学校高学年まで、大勢の子どもさんが楽しんでくれる様子を体感し、久しぶりに笑顔あふれるイベントとなりました。高木地区の皆さま、どうもありがとうございました。



Ki fu-Rope

初めてのバザー

高木まつりの『魚つり』の横で「キフロープ」のバザーコーナーを出店させていただきました。ボランティアさん達の手作り品を手にとっていただきながら「キフロープ」の活動について説明したところ、我々の被災地支援活動に大いに賛同して下さる方もおられ、対面での販売意義を肌で感じることができました。

コロナ禍の制限によりこのような機会をもつことが難しかったのですが、今回ココロープスタッフ3人揃ってバザーを実施できたことは、大きな一歩となりました。売上金は、被災地支援のため大切に活用させていただきます。ご購入くださった皆さま、そして素敵な作品を作ってくださいましたボランティアの皆さまに改めて感謝申し上げます。





OSAKA MARATHON 2023

2023年2月26日(日)、大阪マラソン大会が催されます。
 当団体をパートナーに選んでくださったチャリティランナーさんを
 全力で応援していきたいと思っています。
 チャリティランナーさんへの支援は当団体への応援となり、ひいては
 ボランティア全体への応援につながります。

ご協力よろしくお祈いします！詳細は、同封チラシをご覧ください。

Nうごき

NVNADの活動をお知らせするコーナーです。(2022年8~10月)

8月	17日	ニュースVol.131発行
	19日	近畿ろうきん講座(神戸市垂水区)
	24日	おうちde防災キャンプ(西宮市)
	26日	防災アニメ指導者研修会(西宮市)
	30日	大阪トヨタ&大阪大学ワークショップ⑤(大阪市福島区)
9月	3日	佐用町訪問(兵庫県)
	13日	災害ボランティア養成講座(西宮市)
	16日	甲子園短期大学授業(西宮市)
	18日	おやこ防災講座(西宮市)
	21日	大阪トヨタ&大阪大学ワークショップ⑥(大阪市福島区)
	22日	近畿ろうきん講座(神戸市東灘区)
	23日	親子防災講座(大阪市中之島)
10月	7日	災害救援ボランティア活動支援連絡会議(神戸市中央区)
	9日	高木秋祭り(西宮市)
	12日	通常理事会(西宮市)
	15日	子ども防災クラブ(西宮市)
	16日	おやこ防災講座(西宮市)
		スタディツアー: 関西ngo協議会主催(オンライン参加)
	22~23日	ぼうさいこくたい2022出展(神戸市)* (一社) 地域情報共創センターと共同
	29日	台風15号被災地訪問(静岡県静岡市)



Nごよみ

11月~1月の予定・講演などのスケジュール

11月	5~6日	防災パーク@そねちか(大阪市北区)
	9日	KSNランチ会(西宮市)
	14日	日赤奉仕団防災講演会(西宮市)
	17日	ニュースVol.132発行
	20日	阪大グローバルビレッジフェス(吹田市)
	26日	災害ボランティア養成講座(大阪府岬町)
12月	3~4日	大阪大学人間科学部創立50周年シンポジウム(大阪市中之島)
	5日	第18回小学生ぼうさい探検隊本審査会(東京都)
	10日	おやこ防災講座(西宮市)
	16日	KSNクリスマス会(西宮市)
1月	17日	1.17事業: 未定
	28日	第2回子ども防災クラブ(西宮市)
	未定	第18回小学生ぼうさい探検隊マップコンクール表彰式(東京都)
	未定	おやこ防災講座(西宮市)



～会員・寄付者・募金者のみなさま～

(2022年8月1日～10月31日)

■会員のみなさま

個人正会員：「継続」田中正秀、渥美直子

個人賛助会員：「新規」志賀龍二

「継続」三浪治子、渥美杏奈、渥美樹里

■寄付者のみなさま

※ココロープ宛のご寄付も含まれます。

古塚純枝、鶴田美紀代、志賀龍二、木下和寛、ひでぼ一、風花雪月Snow
ヤフー(株)、近畿ろうきん、ソフトバンク(かざして募金)

■募金者のみなさま

ナカヤマヨシユキ、Kifu-Rope購入の皆さま

(順不同、敬称略)

ご支援、ご協力ありがとうございました。

なお、お振込みくださった方につきましては、振込名でご紹介させていただきましたのでご了承下さい。

===

カレンダー市中止のお知らせ

===

1月の恒例行事となっておりますカレンダー市ですが、コロナの影響により誠に残念ながら中止を決定しました。毎年ご協力くださっている皆さま、ご購入くださっている皆さま、楽しみにしてくださっている皆さま、どうかご了承下さい。

☆お知り合いの方々にお伝えいただけますとありがたいです。どうぞよろしくお願ひします。

あなたの支援が次の1歩に

継続寄付の お願い

災害が日常化している昨今、災害ボランティアや災害NPOへの需要が更に高まっています。地震が発生しやすい周期に入っているとの専門家の指摘もあり、また、気候変動の影響により水害や土砂災害が起こる頻度も高まっています。

防災アニメももたろうでお世話になったクラウドファンディング会社から継続寄付のご提案をいただき、7月にページを立ち上げました。今後も被災地支援や地域の防災活動を行っていくため、どうか皆さまのご支援(継続的なサポート)を心よりお願い申し上げます。

*「レディースフォー 継続寄付 NVNAD」と検索していただくか、右のQRコードを読み取っていただきますと寄付ページが表示されます。



毎月
500円～

編集後記

11月5日(土)・6日(日)の2日間、大阪梅田にて、南海トラフ巨大地震の津波や高潮災害などを想定した防災イベント「防災パーク@そねちか」を、大阪大学と連携して開催させていただきました。9月の台風15号では静岡市内の地下街が実際水没したとお聞きしました。大阪など都市部でも今後浸水など被害が発生する恐れがあるので、「まさか」に備え当団体もできることをやっていきたいと思っています。(H.T)

認定特定非営利活動法人 **日本災害救援ボランティアネットワーク [NVNAD]**

〒662-0853 兵庫県西宮市津田町3-43 TEL 0798(34)9011/FAX 0798(34)9022

http://www.nvnad.or.jp/ 発行人：檜垣龍樹